

お友達が大好きになったよ

保育のねらい・気の合う友だちと簡単なやり取りをしながら遊ぶ。

対象：3歳児すみれ組 作成者:池下桃代

作成日：2019年3月4日



大掃除
机の後ろは
どうかな？

ドッジボール
どっちに投げた
らいいかな？



大きな山を作っ
ているよ。完成
までもう少し！



紙飛行機は、なか
なか真っ直ぐに飛
ばないなあ…

こままわし
対決中！！



保育の振り返り

・友達のことが1, 2学期よりも、一層大好きになったようで、毎日朝の登園時から「せんせ！○○ちゃん来たっ！おはよう～」と喜んでいました。また、遊びの中でのやり取りも、様々な言葉が行き交うようになり、保育者が何気なく言った言葉の意味が分からない子は「さっきの言葉って、なに？」と聞く姿も見られました。（言葉による伝え合い）そして、1対1の関わりから、クラス全員で遊ぶことも増え、遊びのルールが分からない子がいれば、ゲームをストップして、保育者や友だちがルールを説明し、その子の気持ちに折り合いがつくまで待って、参加できそうなら参加する時まで待ってあげる優しい姿を見せてくれる子もいました。（思考力の芽生え・協同性）

これから先、もっとたくさんの言葉のやり取りを、同じクラスではなかった友だちや先生や地域の方等としていくと思います。そんな時、自分の気持ちを守ることを出来るような言葉や、困った時の助けて欲しい言葉も、伝えていく機会があれば、たくさん伝えていきたいと思いました。また、すみれ組の子達から教えてもらった数々の遊ぶ楽しさを、私自身も忘れずに次年度へ繋げたいと感じました。1年間、すみれ組の子達と関わって、本当に楽しかったです。素敵なお縁をありがとうございました！